

1

アレルギーって何？

アレルギーといえば、花粉やダニ、食べ物など原因となる物は暮らしに身近なものばかり。しかも、同じように暮らしていてもアレルギーになる人とならない人がいます。では、どうしてアレルギーがおきてしまうのでしょうか？

人の体には、ウイルスや細菌などの有害なモノが入ってきたときに、これらを攻撃して体を守ろうとする「免疫」というしくみが備わっています。ところが、一部の人では、このしくみが過剰に働いてしまうことがあります。食べ物や花粉など人の体に害を与えないモノであっても異物と判断して必要以上に攻撃してしまうことがあるんです。この免疫の行き過ぎた反応で、体に不都合なさまざまな症状を引き起こしてしまうのが「アレルギー」です。本来なら体を守るはずの反応が、自分自身を傷つけてしまうんですね。

なぜ一部の人に、特定のモノに対してのみアレルギーが出るかは、遺伝が関連しているかも含めて、まだはっきりとはわかっていません。花粉症のようにある日突然、アレルギーがあらわれてしまうこともあるんです。

花粉症をはじめアトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、気管支喘息などの他、食物アレルギーは、アレルギーの原因物質が体内に入ってから数分～数時間以内という短い時間で症状が出るのが特徴です。

